

9 よい薬を安い値段で

お客さんに商品を買ってもらうために、販売店はもちろんのこと、商品提供メーカーも日々、販売促進に努力をしている。最近読んだ情報紙で商品の販促に関する興味ある記事に接した。それは、購入者が、商品に対して興味・予算・信用の3つの条件を満たさないモノは売れないとあった。一般に、販売店が利用する販促手段には、広告チラシ、ダイレクトメールがある。一方、メーカーが行う消費者への販促手段として、商品への「おまけ」や「試飲会」などが行われるが、DGSへ来られるお客さんは、まず「安価であること」であろう。

——ダイレクトメールを持ってきた50代の女性。——
『ナロン錠』はあるかね。今日は15パーセント引きの日だもんで、市役所に来たついでに店に寄ったわね。この葉書で5個まで買えるね。安い

販促 販売促進のこと。お客さんに「興味」を持たせ、「予算」を計上してもらい「信用」してもらいのが販促である。「ドラッグトピックス 平成18年1月2日 24ページ」
ダイレクトメール/DM 商品案内をはがき等で直接お客さんに送る手段。

ナロン錠 アセトアミノフェン、エテンザミド、ブロムワレリル尿素、カフェインを配合した鎮痛薬。

時に買っておくれ」

「幾つ買っていただけでも結構ですが、使用期限には注意して下さい」

——60代の夫婦づれがやって来た。——

「かゆみ止めスプレーを欲しいが、大きいやつはないかね」

「この種類しか置いてありませんが」

「都合悪いねー、大きいほうがとくだに」と不服そうに言う。

——最近、疲れるという50代の男性。——

「おい、『ドックマン』はあるかい」

「ここにありますが」とその場所に案内する。

「高いない。もつと安くならんかい。金がかかってしょうがねえ」

「私が値段を決めるわけにはいきませんので」

「しょうがねーな。小さいやつでも買っていくか」

——60代の女性。——

「おいさん、おいさん、『新ユースキンA』の小さいのが欲しいんだけど、なぜ大きいほうが安い値段だね」

120g入りが特売日でオマケ付きで598円、70g入りは698円。

ドックマン 褐色錠（イカリ草エキス、肝臓分解エキス）、橙色錠（ビタミンB₁・B₂・B₆・B₁₂、ビタミンC）、白色錠（ピロリン酸第二鉄）などの3錠タイプの総合保険薬。

新ユースキンA グリセリン、グリチルレチン酸、カンフルを配合した乾燥性皮膚薬。

「大きいほうは限定品ですので、今安く売っているのですが」
「こんなに大きいのはいらんがねー。それでも安いほうにするか」

——定年退職をしたと思われる60代の夫婦づれ。——

「何にもしてねえと、夜中に何回もトイレにいったかなわん。何かいい薬はあるかい」

「生薬入りの薬がありますが」と『ハルンケア』を紹介する。

「今、テレビで宣伝してる薬か。しかし、これはちょっと高いよ」

「薬が溶かしてあるので速効性があるとされています」

「それでも高いよ、なーオジサン」

そんなこと言われてもオラしらん。

——60代後半を過ぎた男性のお客さん。——

「おバアに体温計を買ってこいといわれてきた。このオムロンの『けんおんくん』は同じメーカーなのに、なぜ値段が違うえ」

980円と1480円がある。

「高いほうは多くの機能が付いています。それに婦人用の便利な基礎体温表付きだしね」

「なに、家のバアさんはもう関係ないわ。安いのでいいわ」と大笑いをす

ハルンケア 漢方薬の八味地黄丸を液剤にしたもの。尿関係のトラブル、糖尿病の初期、腰痛などに効果がある。

けんおんくん 検温計。

る。

——70代後半の夫婦づれが来た。——

「年金生活者には薬は高いね。お医者に行けばいいけれど待たされるし、年をとると大変だね。お爺さん、今日は薬が安い日だって。何を買っていくね」

「安い日か。それじゃあ『養命酒』でも買っていくか」
「そうするかねえ」

——たくさんの薬をカゴに入れてきた60代の女性。——

「今日は幾日だね？」

「……」急に聞かれるとこつちも返答に困る。

「薬の割引は今日からだねー」

「違いますよ。明日からですが」

「明日からかね。それじゃ明日にしよう。これを戻しておいてくれるかね」

——80歳を過ぎたとおぼしきお婆さん。——

「関節が痛くてしょうがねえもんで『グルコサミン』を買いに来た。この

養命酒 生薬を酒類に漬けて薬用酒としたもの。滋養強壮に効く。

広告に載っている1880円の『ブンブン元気グルコサミン』はどこにあるね」

当店の広告商品は2700円である。よく見ると、S店のチラシを持っている。

「おばーちゃん。このチラシはこの店の広告でなくS店のものだけに」

「あれ、違う店のかね。ハッハッハ。せっかく来たので安い牛乳でも買っていくか」

——女子高校生の母親という。——

「娘が下痢症候群になって困ってしまってたね。広告で見ただけだけど、沖縄の海藻から採れるという健康食品が効くとあったが、そういうものは売っていますか」

「『フコイダン』のことですかね。置いてありますが」と陳列棚に案内する。

「えー、1万5000円ですが、高いが買って行ってやりたい。カードを使えますか」

「ここはカードは使えません」

「じゃあ、銀行に行ってお金を下ろしてきます」と言って帰る。

その後、やって来た形跡はない。

グルコサミン 糖とアミノ酸が結合したアミノ糖の一種。軟骨をつくるムコ多糖体の産出を促し軟骨再生に働く。関節痛を改善するともいわれる。

フコイダン 海藻の中でも褐藻類が持つ粘質多糖類の一種で、硫酸化フコースとグルクロン酸からなる物質。抗腫瘍作用、コレステロール値の改善、血圧安定作用があるといわれている。メカブ、オキナワモスクなどに多く含まれる。

——40代初めの女性。——

「この『エーオーセプト』の本体だけ売っていないの」

洗淨酵素と保存液のオマケがついたコンタクトレンズ洗淨剤である。

「オマケなんかいらないわ。本体だけ欲しいのに」

「この商品はオマケ付きになっていますので」

「こういう売り方だから駄目ね。S店に行って買うわ」とプリプリして帰る。

そんなこと言われてもおりゃ知らん。確かに不必要なオマケ付き商品が多くある。

——ドリンク剤の陳列棚から商品を手にした50代の男性。——

「おい、なぜこの『アリナミンV』の試供品は、いつもと違うのが付いているえ」

ちょうど試供品が無くなったので『アリナミン7』の試供品を付けてある。

「アリナミンVの試供品が切れてしまったので」

「しょうがねーな。ちゃんと同じやつをつけておかしよ」

エーオーセプト ソフトレンズの消毒液。過酸化水素液と中和酵素がついたもの。

アリナミンV 塩酸フルスルチアミン、ビタミンB₂・B₆・B₁₂、ニコチン酸アミド、カフェインなど配合した総合栄養ドリンク剤
アリナミン7 アリナミンVに比べて塩酸フルスルチアミンの含有量が低い。

「目薬を欲しいが、このいらんようなオマケは何とかならんかい。取り出すのにも面倒くせいぜ」

「そうですね。並べるのにも苦労しています」

「そう思ったら、はずしておかつし」

——よく来る50代の男性。——

「おい、おいさん、この風邪薬はどっちが本物で、オマケはどっちだ。棚から出しにくくしてしょうがねえ。オマケを付けるより安くすりゃいいのこ」

「メーカーが付けていくもんでねえ」

風邪薬にドリンク剤が一本とマスクが付いている。

販売促進にはいろいろな手法がある。いつもは220円するティッシュペーパーを120円で売る特売日には、早くからお客さんが並ぶ。ダイレクトメール日には同じ商品を幾つも買っていくお客さんが多い。やはり、値段は販促効果が最も現れる条件の一つである。

商品を買ってもらうためには、興味、予算、信用の3つの条件を満たすことが必要と言われるが、やはり、良い薬を安い値段で求めたいのが

消費者の心理である。メーカーも販促効果を高めるために試供品や販促物を付けるのが増えてきている。商品本体よりも大きな販促物は顧客満足度を備えたものではなく不評である。菓を陳列する側も当惑している。

15 健康食品は薬ではない

「健康食品」や「サプリメント」について明確に定義することは難しい。「一般の食品よりも健康に効果がある」として販売されているものが健康食品であり、この健康食品の中に含まれる栄養補助食品の一つがサプリメントである。この中で、特定保健用食品のように、安全性や有効性が評価され認可されている健康食品は販売しやすいが、それ以外の「いわゆる健康食品」については情報量が少なく消費者に説明するのは難しい。「健康食品は薬ではありませんよ」と説明してもなかなか理解していただけない。

コエンザイムQ₁₀やアルファリポ酸、コンドロイチンなどは別の章で説明したので、ここではそれ以外の健康食品について消費者との談義を取りあげてみよう。

——主人が手術をしたという50代の女性。——

「夫がガンの手術をしてね、手術後は『アガリクス』を飲むといいと聞いてきたが、ありますか」

種々の商品を説明する。

「値段が高いもののほうが効き目はあるかねえ」

——ガンを宣告されたという70代の夫婦とその子ども。——

「『アガリクス』は本当にガンに効きますかね」

「抗腫瘍作用成分があるとは言われています」
こうしゅりょう

——外部から電話があつた。——

「『アマニ油』は売っているかね」

「何にお使いですか」

「飲むとガン予防の効果があるって聞いたので」

「？」

——胃ガンを手術したという60代の男性。——

「知人の医者から聞いたが、『ヨクイニン』を飲んだらどうかと言われた。そんな健康食品を売っているかい」

アガリクス ハラタケ属全体の総称。ブラジル産のアガリクス・ブラゼイ・ムリル（ヒメマツタケ）は免疫機能を高めるβ-D-グルカンの含有量が多いキノコとして有名。抗腫瘍効果があるとされ「ガン予防」に効くといわれている。生活習慣病によい。

アマニ油 アマの種子を压榨して得られる黄色の脂肪油。リノレン酸、オレイン酸などを含む塗料、ワニス、印刷インクに用いる。浣腸薬としても用いられた。

ヨクイニン ハト麦の殻をとつたもの。ビタミン、ミネラル、アミノ酸など他の穀類に比べて新陳代謝作用が高いといわれる。有効成分のコイックセノリドには腫瘍を抑制する作用があるという。昔から、いぼとり薬として用いられてきた。

「売っていますよ、ヨクイニンはハト麦の種子殻をとったものですよ」
「何、ハト麦のことかい。家じゃ作っているわね」

アガリクス、メシマコブ、マイタケなどのキノコ類には、免疫機能を高める働きのある『β-D-グルカン』が含有されている。抗腫瘍作用があるというので、ガン手術後のお客さんで購入される方が多い。「ガンに効きますか」の質問への答えは難しい。一部の商品に発ガン誘因性があると報じられてから購入されるお客さんはかなり減っている。

アマニ油にガン予防効果があることは知らないが、ヨクイニンは昔からイボ取りの薬としてよく使われており、含有成分のコイツクセノリドには腫瘍を抑制する効果があるといわれている。

——少し腰の曲がった70代後半のお婆さん。——

『イチヨウ』が頭ボケに効くと聞いて来た。ほんとうに効くかねえ、この年になると、この先が心配でねえ、すこしでもボケないようにと思ってる」
「まだまだ、しっかりせんといけんに」

——80代の爺さんをつれた男性が来た。——

「最近、爺さんが耳鳴りがするといって困る。年を取るといろいろ言うで

メシマコブ 桑の木に寄生するコブ状のキノコ。アガリクスと同様、免疫機能を高める作用があり、抗腫瘍作用があるとされる。

マイタケ サルノコシカケ科に属すキノコ。ビタミン、ミネラル、植物繊維が豊富で健康維持によい。抗腫瘍作用がある。

β-D-グルカン キノコに含まれる多糖類（植物繊維）で、体の免疫力を高めることで、生活習慣病や抗腫瘍効果があるといわれている。

ね、困るに。『イチヨウエキス』がいいというが売っているかい」

「ありますが」

「年寄りの気休めにもなるで買っていくか」

——受験期の子どもを控えた母親。——

「最近、本で読んだが、『イチヨウエキス』が頭を活性化するというが本当かねえ。子どもが受験の勉強中なので飲ましてやりたい」

「欧米では人気があるようです。受験シーズンになると、学生さんがよく利用するそうです」

——50代後半の女性。——

「『イチヨウ』がボケに効くというが、ありませんかね。最近、バーチャンがボケてきてしょうがないもんで、少し飲ませてみたいと思ってね」

最近、『イチヨウ葉エキス』が話題になっている。欧州ではすでに医薬品として使用されているが、イチヨウにはギンコライドやフラボノイドの成分が含有されている。体内の血行を良くするので、冷え性や肩こりに効果がある。また、脳の血流をも良くするというので米国では受験生に人気がある。認知症の予防についても研究がなされている。

イチヨウ葉 イチヨウ葉には10種類以上のフラボノイド（植物に含まれる色素成分）や、ギンコライドが含有されている。活性酸素消去作用や血管を拡張し血液の流れをよくする働きがある。血行障害、痴呆予防、動脈硬化予防する働きがあるという。「日経サイエンス 平成15年12月号 30ページ」

そういえば、名古屋大学にいた頃、研究室ではイチヨウ葉からいろいろな物質を抽出し、構造決定や全合成を行っていたことを思い出した。研究生が全員で栄通り^{さかえ}まで出かけイチヨウの落葉をかき集めて成分を抽出し、カラムクロマトグラフィなどで精製し結晶を分離していた。それがギンコライドである。

—— 足が不自由なお婆さん。 ——

『シジミ』が体にいいっていうので買いにきたが、粉末は売っているかね』

「粉末はありませんが、錠剤の商品なら置いてありますよが」

「味噌汁に入れて飲みたいと思ってね」

「それじゃ、シジミを買ってきて味噌汁を作ったらどうだね」

「買ってくるのが面倒だもんで、粉末を入れればいいと思ったわね。ハッ

ハッハ」

—— 50代の男性。 ——

「おいさん、肝臓に効くという『ウコン』はどこにあるね。春ウコン、

と、秋ウコン、とでは違うのかね」

「肝臓の機能を高める『クルクミン』という成分が秋のほうが多いと言われています」

シジミ シミエキスには、魚介類の中では肝臓の機能を強化するビタミンB₁を豊富に含有し、メチオニン、タウリン、イノシトールなども含み肝臓機能の強化に役立つ。二日酔いに朝のシジミ汁がよいのは経験的に伝えられてきた民間療法である。

ウコン インド原産のシヨウガ科植物。クルクミン、フラボノイドなど含有し、抗酸化作用がある。肝臓機能を改善するといわれている。カレーの香辛料としても使用されている。

ギムネマ インド原産のガガイモ科の多年草。ギムネマ酸を含有する。糖分の吸収を阻害し、血糖値の上昇を抑制する。糖尿病の予防や肥満予防にも役立つ。グアバ 熱帯アメリカ原産のフトモモ科の常緑樹。糖を分解してブドウ糖にする酵素の活性を阻害するポリフェノールを含有

『グルクミン』は二日酔いにいいかね』

「胆汁の分泌を促し肝臓の働きを助ける作用があるので、二日酔いにはよく効くに」

—— 60代初の男性。 ——

「糖尿病の予防にいいお茶はないかい」

『ギムネマ茶』や『グアバ茶』、『ヤーコン茶』もありますが」

『ヤーコン茶』でも買っていつて飲むか」

—— 同じ年代の男性。 ——

「おい、血圧が高いが『トチュウ茶』がいいって聞いたがほんとうかい」

「『トチュウ茶』には血圧降下作用物質が含まれています。同じように『ら

ふま茶』や、ルチンが入っている『ソバ茶』もいいですよ」

「おら、ソバは嫌いだ。『トチュウ茶』でも飲んでみるか」

—— 青白い顔をした20代の青年とその母親。 ——

「この子は全然野菜を食べないので『青汁』を飲ませたい、飲みやすいのはどれ」

「私は飲まないで、どれが飲みやすいかわかりませんが、牛乳と混ぜて

し血糖血の上昇を抑える。糖尿病の予防。

ヤーコン キク科の多年草の塊根（芋）で、フラクトオリゴ糖

難消化性デキストリンを豊富に含みヒフィス菌など増やす整腸作用がある。コレステロール

も低下させる。デンブンを含まないので、糖尿病患者の甘味料

に適するという。

トチュウ葉 トチュウ科の落葉樹。ヒタミン、カルシウム、亜鉛

など含む。ゲニポシド酸などの配糖体は血管拡張作用があり

血圧降下作用がある。血圧を安定させ、生活習慣病や糖尿病の

予防に役立つという。

らふま茶 中国北西部自生のキョウチクトウ科の宿根草の葉。

ヤンロー茶ともいう。ルチン、カテキン、ケルセチンなど多様な

フラボノイドを含む。カルシウム、鉄も含有する。コレステ

ロール低下作用がある。コレステロール値改善、血圧安定作用。

飲んだら」

「この子は牛乳も飲まないのですよ」

「そりゃあ、困るねえ」としか言いようがない。困った青年だ。

——40代の女性。——

「姉が『カツ』という水を使ったら、カサカサの皮膚が治ったって、本当かねえ」

「使った人の経験談を載せた冊子がありますので参考にして下さい」

「それにしても値段が高いねえ」

——70代の男性。——

「最近、小便の出が悪くなってしようがねえ、何か、お茶でいいのはねえかい」

「頻尿ひんじょうや排尿の不快感によいといわれる『ウワウルシ』があります」

「ウルシ？ あそこがかぶれちゃあ困るぜ」

「かぶれるウルシとは違う生薬です。安心して使って下さいな」

——かなり頭の毛が少なくなった男性お客さん。——

「おい、おいさん、『ノコギリ』とかいう薬はあるかい。チビリ小便に効

活か 強波動水。波動を共鳴させることにより、体内の細胞を活性化させ自然治癒力を高めるといふ。最大の特長は再現性の高い「速効性」と「体質改善」にあるといふ。

ウワウルシ ツツジ科のクマコケモモのこと。高山、寒地に野生する常緑小低木。フェノール配糖体、アルブチンを含有する。尿路消毒薬として用いる生薬。

くとか」

「葉ではありませんが、『ノコギリヤシ』のことです。欧米ではよく使う
そうです」

「年をとると駄目だない。小便まで人を馬鹿にしやがって、ハッハッハッ
と笑う。」

—— 一時のブームは去ったが黒酢を求めるお客さんは多い。50代後半の
女性。——

「最近、どうも体の調子が悪い。『黒酢』がいいって聞いてきた。どれが
いいかね」

「いろいろな黒酢がありますが、十分に熟成させた黒酢のほうがアミノ
酸、有機酸が多く含むと言われています。特に、色が濃くなり、旨味が
増すとのことですよ」

—— 40代前半の女性。——

「『バルサミコ酢』はありますか」

「?」 そのような酢はありませんが」

お客さんが帰った後でよく探すと、あった。お客さんには悪いことを
した。ブドウを原料にして作られたイタリアの黒酢だそう。ポリフェ

ノコギリヤシ 北米原産のヤシ科の低木。有効成分はβシトロステロール。前立腺肥大の改善、頻尿、残尿感の予防に効果があると言われている。欧州では治療薬に認可。

黒酢 発酵や熟成に時間をかけた酢のこと。味がまろやかでコクがあるという。アミノ酸、クエン酸など有機酸やビタミン、ミネラル等を豊富に含み、疲労回復や生活習慣病、血圧の高めの人、コレステロールを減らすなどの働きがある。

バルサミコ酢 ブドウから作られたイタリアの黒酢。西洋料理に使う。有機酸のほか、活性酸素を減らすポリフェノールを含有する。

ノールが豊富に含有されていて健康によいという。

——テレビ番組を見て来たというお客さん。——

『「ユーカリ茶」はありますか』と40代の女性。

『「アスタキサンチン」の飲料水はありますか』と50代の女性。

『「ノニジュース」はありますか』と20代の女性。

美容や体重減量に効果があるらしい。これらの健康茶や飲料水は売っていない。

いやはや、いろいろおっしゃるお客さんが多いこと。とにかく、健康食品やダイエット商品の種類や商品数が多いのには混乱してしまう。健康食品やサプリメントは薬ではないがお客さんの大半は『効果』を期待してそれを求めてくる。そのいい例として「いつ飲んだらいいか」とか「一緒に飲んでもいいか」という質問が多い。「食品ですので、いつ飲んでもかまいませんよ」と答えているが。サンマやイワシを買うお客さんは、店の人に「いつ、食べたらいいか」とはたして質問するだろうか。錠剤やカプセルなどの形状をした食品を薬と間違えるのは当たり前であろう。それにしても、テレビや新聞、チラシなどの広告の宣伝効果は恐ろしい。消費者はよく見ている。

ユーカリ フトモモ科の植物。

コアラが葉を好んで食べる。主成分は精油のシネオール。香料の原料や防腐剤、局所消毒剤として用いる。

アスタキサンチン 藻類から抽出されたカロテン様物質。最近、ビューティーサプリとして人気がある。

ノニ 亜熱帯の地域に自生する常緑の灌木。果実にはプロキセロニンという成分を含有し、自然治癒力を高め細胞を活性化させる。血圧降下作用、抗菌作用もある。